

1号機 原子炉建屋 機器ハッチ養生の完了 及び使用済燃料プール周辺小ガレキ撤去の開始について

2019/3/28



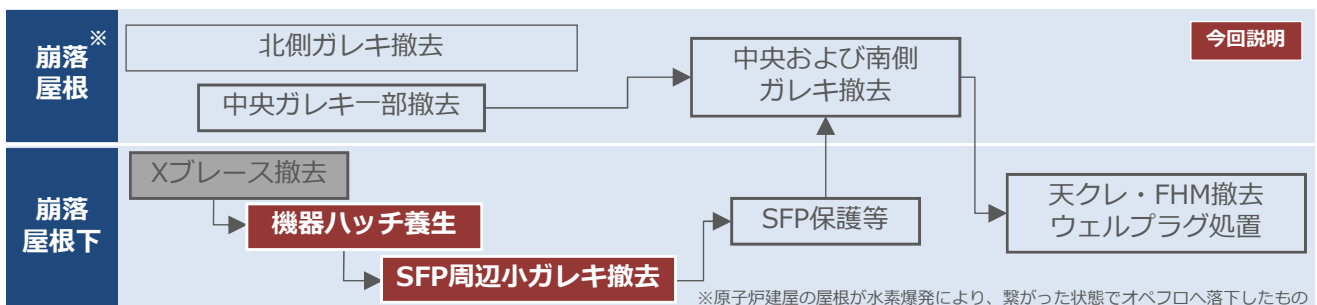
東京電力ホールディングス株式会社

1 はじめに



原子炉建屋オペレーティングフロア（以下、オペフロ）のガレキ撤去のステップを以下に示す。
以降、使用済燃料プールを **SFP**、燃料取扱機を **FHM**、天井クレーンを **天クレ** と表記

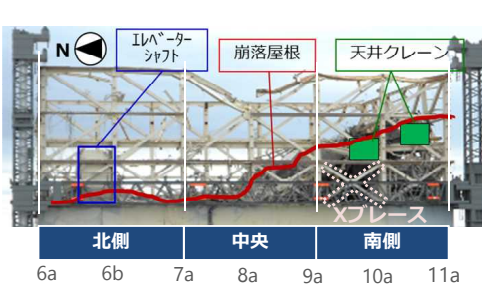
今回は、**機器ハッチ養生**および**SFP周辺小ガレキ撤去**について説明する。
旧情報棟からの遠隔操作により、機器ハッチ養生カバー設置を完了し、SFP周辺小ガレキ撤去を開始した。



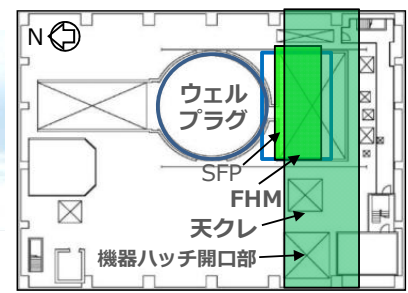
ガレキ撤去のステップ



オペフロ平面（2018年9月撮影）



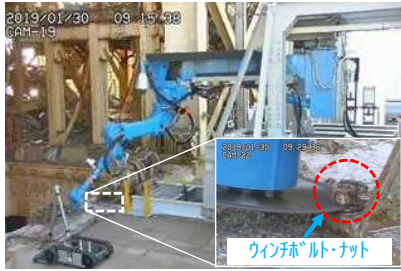
オペフロ西側立面



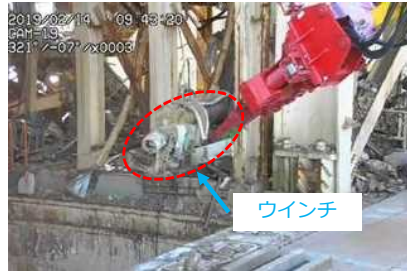
天クレ・FHM配置

2 機器ハッチ養生の進捗について

- 2019年1月から準備作業に着手し、2月19日にウインチ・ヒンジ等の干渉物の撤去を完了し、3月6日に機器ハッチ養生カバーの設置を完了した。



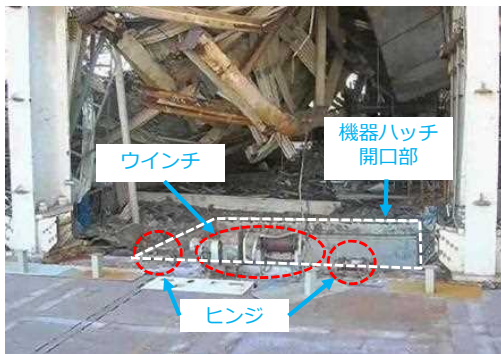
ウインチボルト・ナット切断の様子
※アーム先端にチップソーを装着して切断



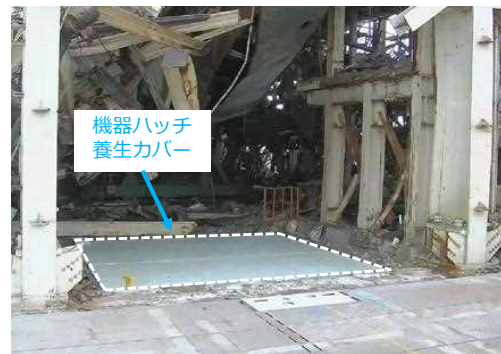
ウインチ撤去の様子
※ガレキ撤去ツールのベンチを使用



機器ハッチ養生カバー設置の様子
※大型吊り天秤とクレーンを使用



機器ハッチ養生作業前（西作業床より）



機器ハッチ養生カバー設置後（西作業床より）

3 SFP周辺小ガレキ撤去の概要

- 遠隔操作重機を各作業床からオペフロ上にアクセスさせて、SFP保護等の作業に支障となるSFP周辺床面上の小ガレキを撤去する。
- 2019年3月18日からベンチ及び吸引装置を用いてSFP周辺東側エリアの小ガレキ撤去作業を先行実施しており、2019年4月から遠隔操作重機を用いた作業を開始する予定。

①

②

③

西作業床

東作業床

南作業床

SFP

ベンチ

吸引装置

SFP周辺小ガレキ撤去範囲

遠隔操作重機一覧

【飛散防止剤】

- 作業前は、飛散防止剤の定期散布により、ダストが固着されている状態である。また、作業で新たに露出した作業範囲に対し、飛散防止剤を散布することで、オペフロアは常にダストが固着されている状態にする

【撤去工法】

- ガレキ撤去は、ダスト発生を抑えることに配慮し、吸引、すくい、剥離、切断、把持で行う
- 作業時（吸引作業除く）は、局所散水装置を用いて作業エリアを湿潤状態に保ちながら小ガレキ撤去を行う。

撤去対象	SFP周辺小ガレキ（床面）				
	コンクリート片・金属ガラ等			ケーブル類・手摺等	
主な撤去機器	吸引装置（置型）	バケット	スクレーパー	カッター	グラップル
撤去方法	吸引	すくい	剥離	切断	把持
外観写真					